



両荘地区ささえあい協議会

新たなつながりを求めて

コロナ禍でさまざまな地域行事が中止されるなか、両荘地区でも住民同士が顔を合わせる機会が少なくなりました。

両荘地区ささえあい協議会(以下、「協議会」という。)では、新たな住民同士のつながりについて、地域の強みを生かした取り組みを検討してきました。



▲新米を提供した出店者の笑顔

地域の強みを生かして

両荘地区は、農業に従事している人が多く、たくさんの野菜が作られています。その農産物を平荘会館に集めて販売する「ふれあいマーケット」を開催することになりました。そこへ、地元のお店が衣服や靴下を提供し、協力していただきました。そして、子どもたちも、コロナ禍で地域とのふれあいが減っていたため、参加を呼びかけたところ、小学生はオープニングでの和太鼓演奏、中学生は販売の協力をして、場を盛り上げてくれました。

また、住民の介護の悩みを聞いてほしいという課題への対応として、地域の介護保険事業所が相談コーナーをつくりました。

地域住民、地元の商店、福祉事業所がそれぞれの強みを生かしたイベントを開催することができました。

世代を超えたふれあい

この「ふれあいマーケット」は、協議会メンバーに加え、各町内会長や民生委員・児童委員(以下、「民生委員」という。)、老人クラブ、婦人会、子どもたちなどの協力を得て開催することができました。

たくさんの住民が参加し、若い人から高齢者までが集い活躍した「ふれあいマーケット」は、世代を超えたふれあいを通して住民同士のつながりを深め、地域の魅力を発信する機会となりました。



撮影時のみマスクを外しています。

世代を超えた
仲間の輪が
広がり、
地域の一体感が
うまれました



両荘地区ささえあい協議会メンバー

平荘町町内会連合会

加古川市連合婦人会

特別養護老人ホーム鹿児の郷

地域包括支援センターかこがわ北

上荘町町内会連合会

上荘町老人クラブ連合会

グループホームくに林

加古川市

両荘民生児童委員協議会

地域ボランティア(上荘ふれあい喫茶、楽友会)

小規模多機能型居宅介護キャンディタフト加古川

加古川市社会福祉協議会(事務局)

氷丘地区ささえあい協議会

(河原第1町内会の取り組み)

ささえあいの必要性

氷丘地区ささえあい協議会では、「ささえあいのまちづくり」を目指し、町内会長、民生委員を対象に合同研修会を開催しました。研修会では、災害時を想定した地域における活動について意見交換し、ささえあいの必要性を改めて感じました。

そこで、河原第1町内会では加古川市避難行動要支援者名簿(※)を活用し、自力で避難することが難しい人の災害時支援活動に取り組みました。



▲ご近所の人と一緒に避難する車いすの要支援者

避難訓練を実施



▲町内会長を中心に各種団体が連携

令和3年11月7日(日)には、水害を想定した避難訓練を実施しました。この訓練では、町内会役員、民生委員、消防団員だけでなく、近所の人も支援者となり、車いすを利用している要支援者と一緒に河原公民館まで避難することができました。

災害時に一人では避難することに不安がある要支援者からは、「一人暮らしなので、近所に気にかけてくれる人がいて心強い」といった声を聞くことができました。

安心して暮らせる地域を目指して

河原第1町内会 こにしつお 小西哲夫会長は、「災害時、要支援者を町内でささえるためには、日頃からの顔の見える関係づくりが大事だと感じた」と話されていました。今後は、要支援者マップを作成し、見守り活動を実施すると意気込んでおられます。

※加古川市が作成する、高齢者や障がい者など、災害時に避難の支援が必要と思われる人を掲載した名簿

お知らせ

ささえあい協議会のホームページを立ち上げました

各地区ささえあい協議会の情報や地域活動について、加古川市社会福祉協議会(以下、「社協」という。)ホームページでお知らせすることになりました。

「地域の虹」のバックナンバーも掲載しています。



【URL】 <http://www.kakogawa-shakyo.jp>